

単元名 筆者の考えを読み取り、社会と生き方について話し合おう

配当時間 6時間

単元の目標 (1) 文と文との接続の関係、文章の構成や展開について理解することができる。
 (2) 文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、その意見や感想を共有し、考えを広げることができる。
 (3) 複数の文章を読んで自分の考えを広げ、互いの意見を交流しようとする。

標準的な展開例

06010303_001

【教材名】メディアと人間社会／大切な人と深くつながるために／プログラミングで未来を創る (P. 189～P. 200)

(P

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 学習の見通しをもつ。 ★筆者の考えを読み取り、社会と生き方について話し合おう。 ○教科書 (P. 189) の題名やリード文から、これから読む文章の内容や考えていくことをイメージする。 ○「これまでの学習」を参考にしながら、説明的な文章を読んで自分の考えをもつという学習経験を振り返る。 ○「筆者の考えを読み取り、社会と生き方について話し合おう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>2 二つの教材文の要旨を捉える。 ○「メディアと人間社会」「大切な人と深くつながるために」の要旨を捉える。</p> <p>○二つの教材文を読み、これからの社会を生きていくという観点から感想を交流する。</p> <p>3～4 二つの教材文を比べて読む。 ○二つの教材文を読む。</p> <p>○二つの文章を比べ、筆者がどのようにして自分の考えを伝えようとしているかを考える。</p> <p>○二人の筆者の考えの共通点や相違点を考える。</p> <p>○自分の知識や経験などと比べて、気付いたことや考えたことを書き出す。</p> <p>5～6 自分の意見をまとめ、交流する。 ○「これからの社会でどう生きていくか」ということについて、筆者の考えをふまえて自分の意見をまとめる。</p> <p>○各自の意見をグループで交流する。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>・二つの文章をもとに、これからの社会を生きていく上で、自分自身が大切だと思うことを考えていくことを確認する。</p> <p>・それぞれの文章で、筆者が最も伝えたいことは何で、それがどこに書いてあるかを考えさせる。 【評】教材文を読む活動を通して、文章全体の構成を捉え、要旨を把握する「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・自分の知識や経験と比べて気付いたことや、自分の考えとの共通点や相違点などについて交流させる。</p> <p>・教科書 (P. 196) を読み、二つの教材文を比べて読む観点を確認させる。</p> <p>・論の展開や構成の工夫、事例の挙げ方、表現の特徴について話し合わせる。 【評】二つの文章を比べて読む活動を通して、文章の構成や展開を理解する「知識・技能」を評価する。</p> <p>・共通点や相違点を示すサイドラインを色分けして文章に引かせてもよい。 【評】共通点や相違点を考える活動を通して、自分の考えを広げていこうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・自身の経験をふまえて書くことができない児童に対して、書けている児童に発表させたり教師が自身の経験について話したりするなどして、考えをもてるようにしてもよい。</p> <p>・教科書 (P. 199～200) 「プログラミングで未来を創る」や、「この本、読もう」で取り上げられている本を読んで、参考にさせる。</p> <p>・これからの社会を生きていくために大切なことや、自分ができること、すべきことについて考えさせる。 【評】自分の考えをまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・考えが広がったことについて、学級全体でも共有し、感想を伝え合わせる。 【評】文章を読んでまとめた意見や感想を交流する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身に付けた力を押さえる。</p>

【 備 考 】